



2025年2月期 決算補足資料

FY2025 2024.3.1 – 2025.2.28
Presentation material

磯丸水産 鹿児島初進出

歓楽街・天文館エリアにオープン

オープン日 終日20m超の行列

天文館エリア
繁華街・歓楽街

磯丸水産 センテラス天文館店オープンの様子(2/24 16時頃)

Index

FY2025 ハイライト	4P
売上高	5P
原価率	7P
販売管理費	8P
営業利益	9P
損益計算書	11P
今後の取り組みについて	12P
業績ガイダンス	16P
株主還元	17P
Appendix	19P

FY2025 ハイライト

年末年始商戦（4Q）の客足好調、売上高・営業利益ともに業績予想を上回る

○ 業績のハイライト

売上高 : **30,389**百万円（前年同期比 **105%** 業績予想 **30,000** 百万円）

24/2期伸長の営業時間効果と訪日客売上高も好調引き続きで既存店しっかり増収

営業利益 : **2,186**百万円（前年同期比 **108%** 業績予想 **2,100** 百万円）

人件費、水光熱費など費用増を吸収して営業増益、第4Q繁忙期もしっかり稼いで増益着地

○ 事業のハイライト

磯丸水産 5 店出店 地方出店と訪日客取り込み

なんば、金沢（FC・初進出）、横浜（FC／磯丸水産食堂）、大船、鹿児島天文館（初進出）

大衆酒場 五の五 6 店出店 14店舗体制に拡大

第1Q・2店舗出店 大阪・天王寺（新規出店）、横浜（業態転換）

第3Q・2店舗出店 大阪・南森町、池袋（いずれも業態転換）

第4Q・2店舗出店 神奈川・本厚木、埼玉・川口（いずれも新規出店）

売上高

○売上高：30,389 百万円（前年同期比 105%）

- ・前年同期差 1,310百万円 24/2期に伸長した営業時間効果積み上げと訪日客売上高も増収
- ・1店当り売上高 約146百万円 営業時間はコロナ前比 △18%（約3.7時間／日・店）も同水準まで回復

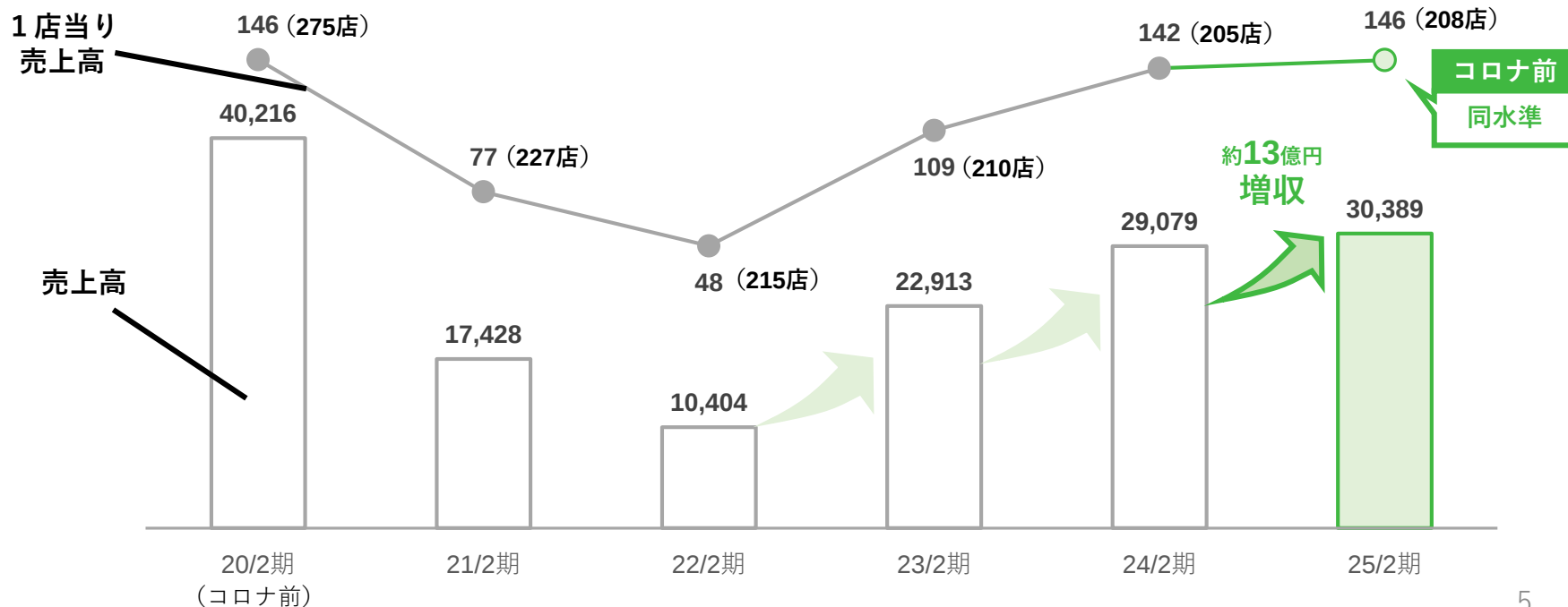
※1店当りの売上高：売上高を店舗数で除した値、店舗毎に立地や面積に応じてバラつきがあります

売上高の推移（年次）

単位：百万円

← コロナ禍の不採算店等の整理・出店凍結

→ 出店再開・営業時間伸長・価格改定



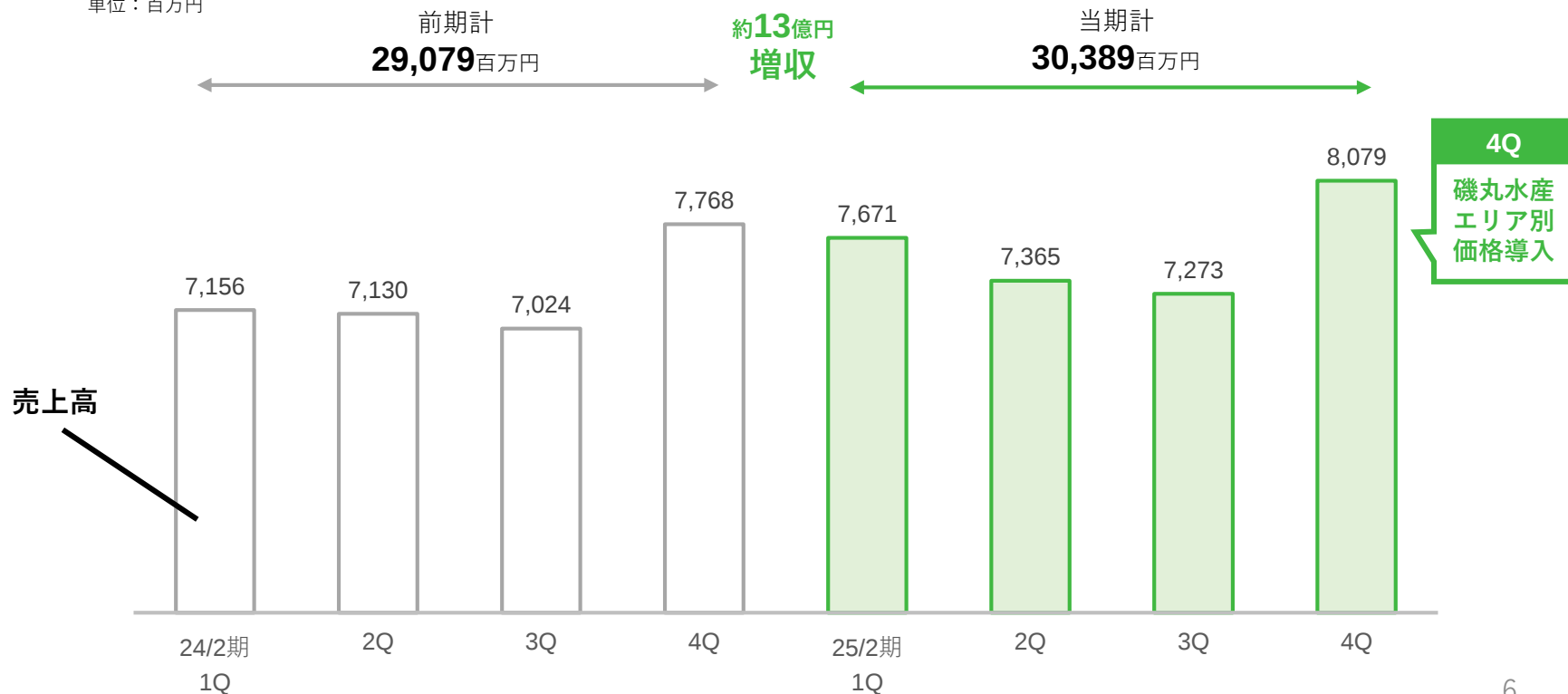
売上高 - 四半期

○売上高：30,389百万円（前年同期比 105%）

- ・前年同期差 約13億円 24/2期は人員補強しながら徐々に営業時間拡大、拡大時間の増収積み上げ
- ・24/2期出店（8店）の通期上積み効果順調、25/2期出店8店も増収貢献
- ・磯丸水産 インバウンド好調引き続き（※直営店 前期比+37%）、第4Qではエリア別価格を導入

売上高の推移（四半期）

単位：百万円

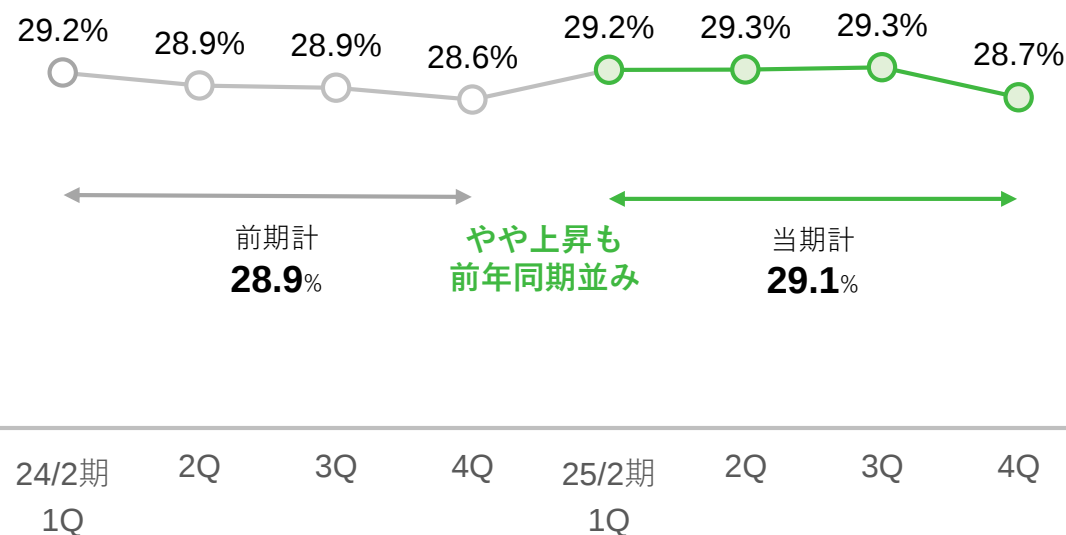


原価率

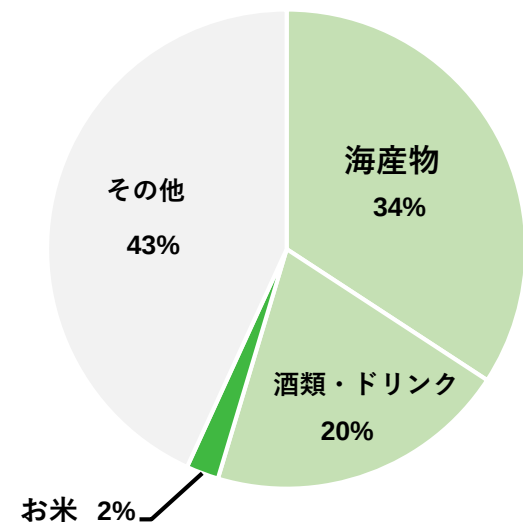
○原価率： 29.1%（やや上昇も前年同期並み）

- ・原価全体 物流及び使用食材の見直しや価格改定（一部メニュー）を通じて原価率はやや上昇も前年同期並み
- ・米の急騰 食材仕入れ、お米の割合は2%程度で影響は限定的

原価率の推移（四半期）



食材別仕入れ構成



海産物、酒類・ドリンクで50%超

（連結子会社・FC除く）

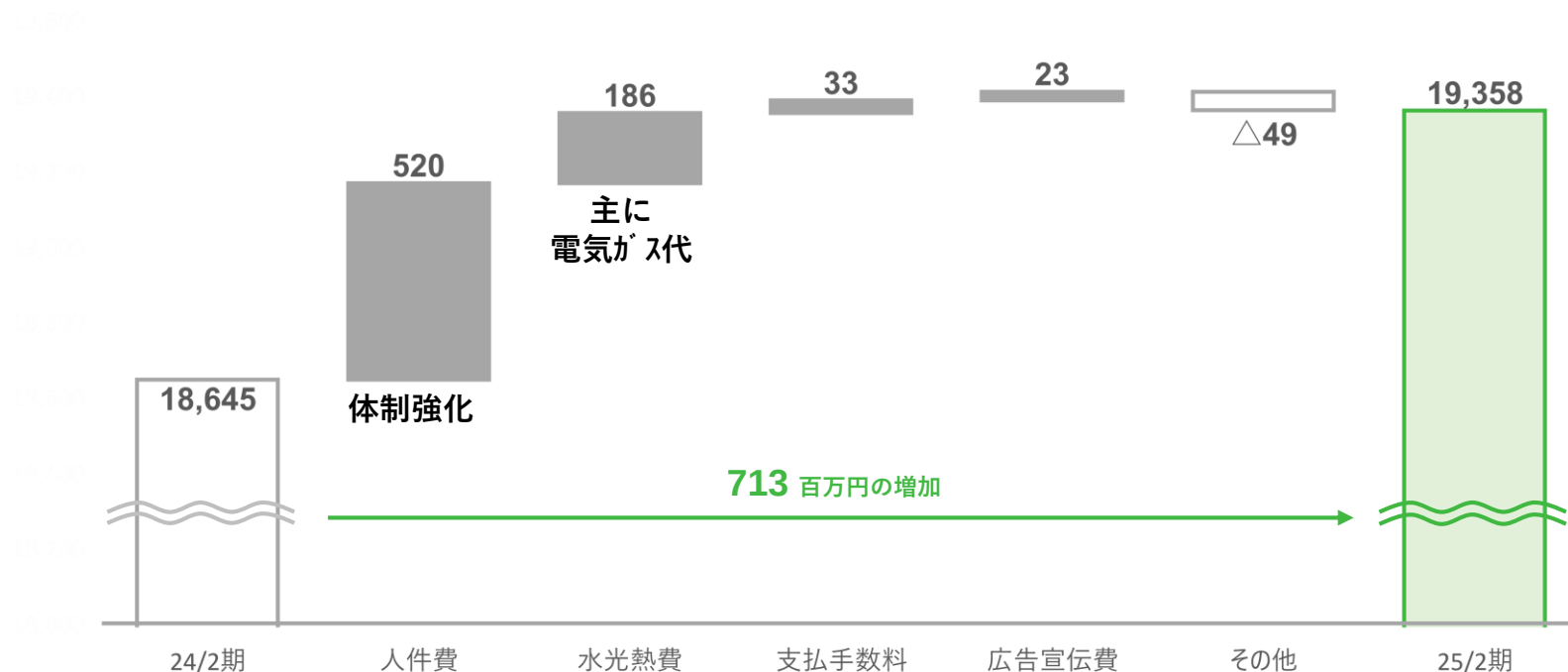
販売管理費

○販売管理費：19,358百万円（前年同期比 104%）

- ・前年同期差 +713 百万円 24/2期採用強化で人件費増も経過とともに増加幅は縮小、水光熱費は補助金効果剥落で増加
販管費増も計画通りの増収でしっかり吸収

販売管理費の増減要因（前年同期比）

単位：百万円



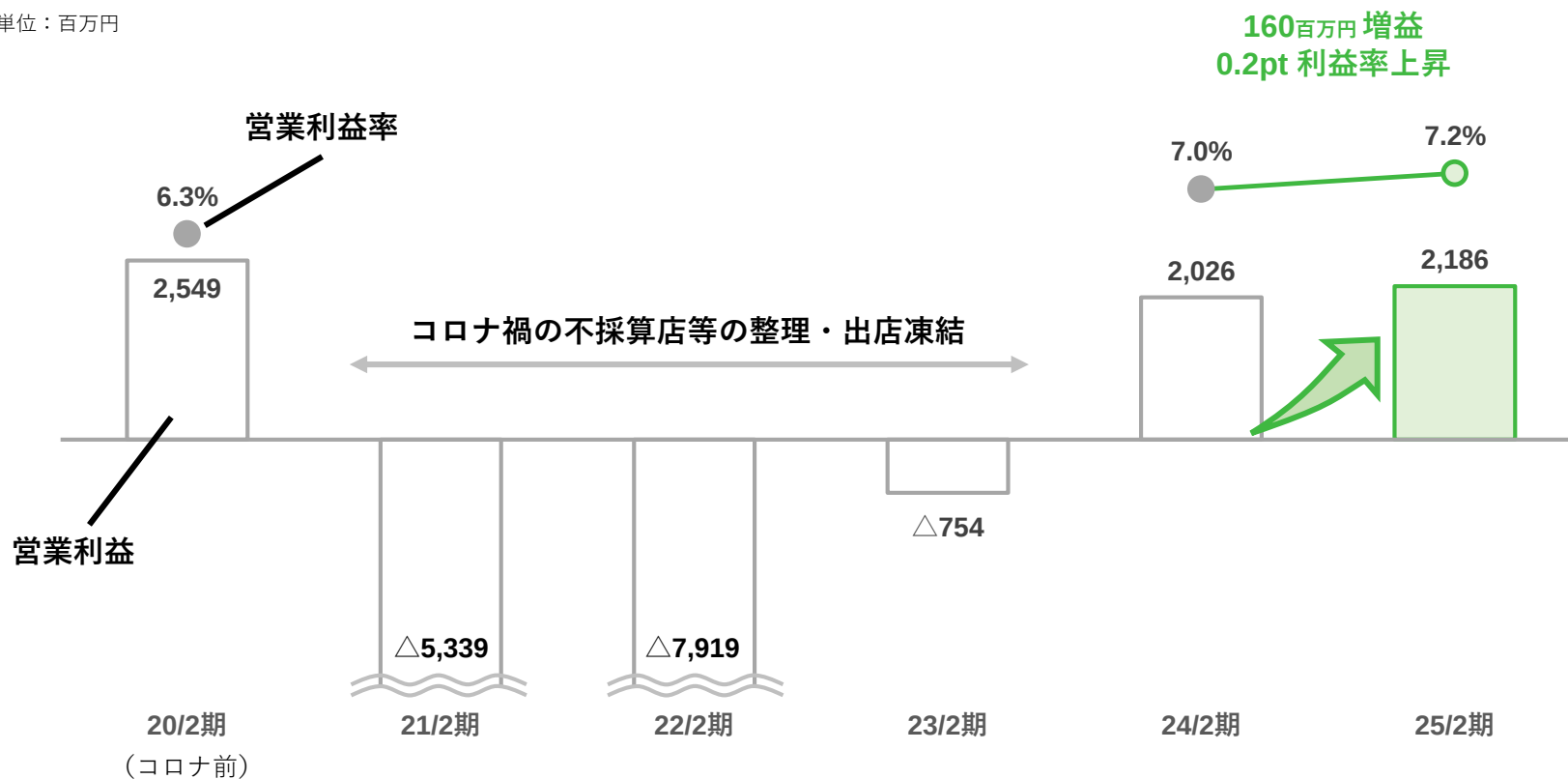
営業利益

○ 営業利益： 2,186百万円（前年同期比 108%）

- ・ 前年同期差 +160 百万円 販管費増も計画通りの増収でしっかり吸収
- ・ 営業利益率 7.2 % 前年同期差0.2pt増、コロナ前に比べても0.9pt増で筋肉質な利益構造の定着

営業利益の推移（年次）

単位：百万円



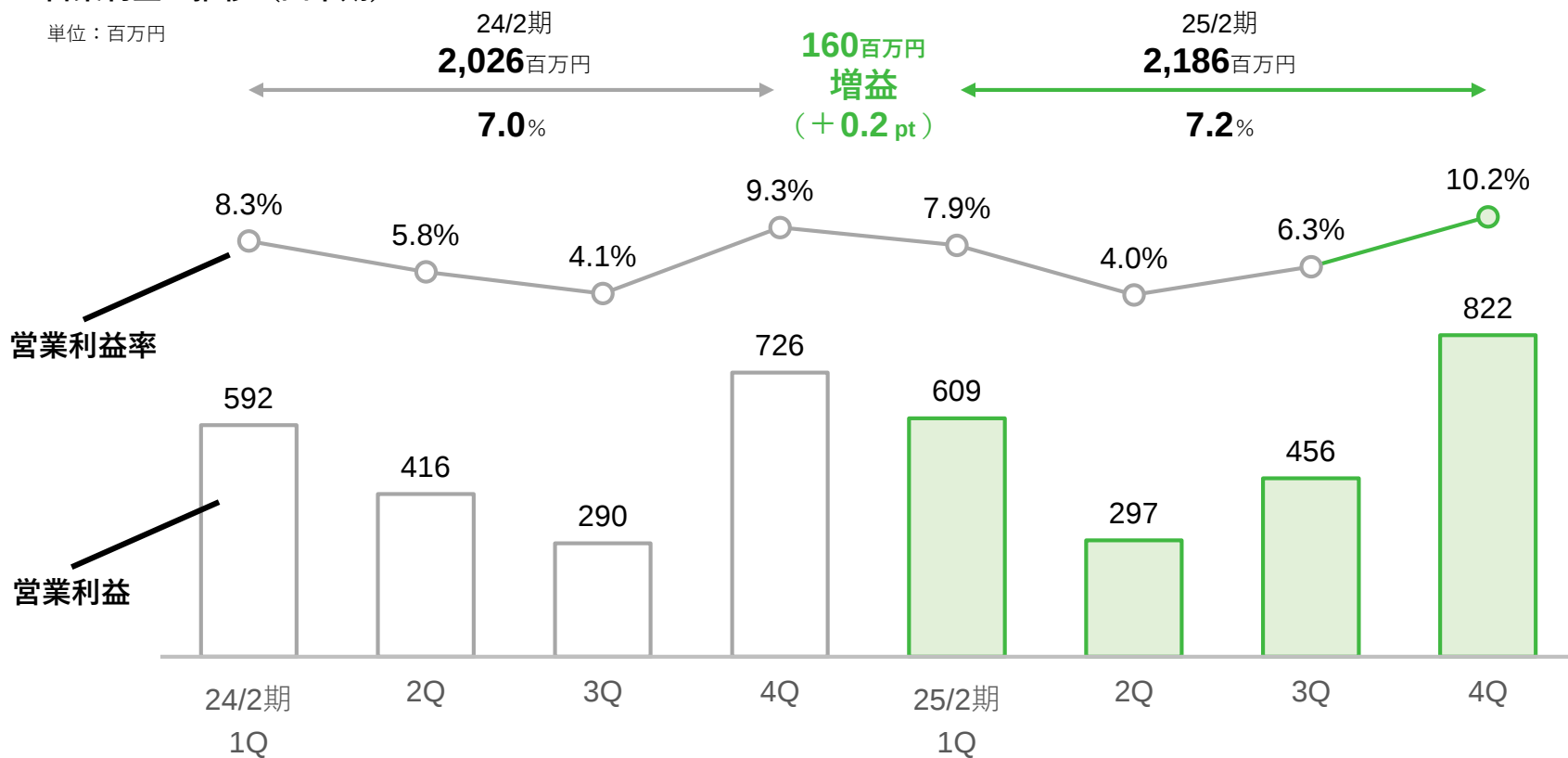
営業利益 - 四半期

○ 営業利益： 2,186百万円（前年同期比 108%）

- ・ 4Q単体 10.2 % 第4Q人件費は前期並みで増収効果積み上がり利益率増（前期比+0.9 pt）
- ・ 前期差 +160 百万円 第2Qは台風影響で一旦足踏みも、年末年始しっかり稼いで増益で着地

営業利益の推移（四半期）

単位：百万円



損益計算書

- ・前年同期比 原価、販管費増を増収による吸収で営業増益。前期 繰延税金資産計上効果（492百万円）剥落で最終減益
- ・業績予想比 売上、利益ともに順調に推移、最終益やや届かずも、営業利益ではしっかり捉える

(百万円)	25/2期 通期 (24/3～25/2)	24/2期			25/2期 業績予想		
		通期 (23/3～24/2)	増減		通期 (24/3～25/2)	増減	
			差	%		差	%
売上高	30,389	29,079	1,310	104.5%	30,000	389	101.3%
売上原価	8,843	8,406	437	105.2%	-	-	-
売上総利益	21,545	20,672	873	104.2%	-	-	-
販管費及び一般管理費	19,358	18,645	713	103.8%	-	-	-
営業利益	2,186	2,026	160	107.9%	2,100	86	104.1%
営業外収益	270	252	18	107.1%	-	-	-
営業外費用	175	42	133	416.7%	-	-	-
経常利益	2,281	2,236	45	102.0%	2,300	△19	99.2%
特別利益	14	12	2	116.7%	-	-	-
特別損失	91	468	△377	19.4%	-	-	-
税引前当期純利益	2,204	1,780	424	123.8%	-	-	-
法人税等合計	719	49	670	1467.3%	-	-	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,485	1,731	△246	85.8%	1,500	△15	99.0%

百万円未満は切り捨てて表示

今後の取り組みについて（重点施策）



磯丸水産

さかな(魚)加工センター®

大衆酒場

五の五

鳥良商店®

新規出店



○ 磯丸水産「地方」開拓、大衆 五の五「都市部」足場固め

- ・ 磯丸水産 25/2月鹿児島初進出は大盛況でスタート、引き続き地方出店へ積極的な投資
- ・ 磯丸水産 東京、大阪、京都などインバウンド需要高いエリア、更なる出店狙う
- ・ 大衆酒場 磯丸盛業エリアへ新規出店と業態転換で展開進む

磯丸水産 センテラス天文館店



25/2/24

鹿児島 初進出

24/7/9

金沢 初進出

当社の出店エリア

(直営・FC 25/2月末時点 計208店舗)

25/2期 8店出店 (出店順)

五の五 あべのルシアス店
磯丸水産 金沢店 (FC)
磯丸水産 なんばセンター街店
磯丸水産食堂 横浜ワールドポーターズ店 (FC)
磯丸水産 大船店
五の五 本厚木北口店
鉄板ホルモン五の五 川口店
磯丸水産 センテラス天文館店

26/2期 新規出店予定

4月予 磯丸水産食堂 ららぽーと安城店 (FC)
6月予 磯丸水産天王寺北口店
秋頃 磯丸水産浜松有楽街店

エリア別価格の導入



○ 磯丸水産 繁華街エリアで価格を見直し

- ・ 酒類値上げや店舗運営コストの上昇を見据え、繁華街エリアに新価格を適用
- ・ 住宅、郊外エリアは価格据え置き
- ・ ランチ帯は全エリア共通として客足の鈍化避ける、深夜料金（24：00～05：00）の導入は検討の段階

エリア別価格の導入

価格の最適化

住宅エリア 繁華街エリア



新価格適用
(約8割の店舗)

	ディナー帯	ランチ帯
訪日客 メイン (3)	客層を踏まえて フード 類に新価格	住宅エリア と共通
日本人 メイン (78)	コスト上昇見据え 幅広いメニューに 新価格適用	

客層や時間帯を勘案した価格設計

対象店舗：磯丸水産 104店（直営99店＋連結子会社5店）

収益構造転換へ

鳥良商店®

●鳥良商店 大衆感演出で来客数増狙う、26/2期は25店まで拡大へ

- ・生ビール、ハイボールの低価格化で大衆酒場感を演出
- ・これまで鳥良商店になかった焼き鳥メニューを投入
- ・通常の居酒屋メニューの絞り込みを図り、オペレーションの簡略化
- ・24/11月、3店舗で先行リニューアル。第4Q前年比・来客数113% 客単価105%で順調スタート

比較ポイント	従来	リニューアル
店舗数 (25/2月末時点)	21店	6店
生ビール	税抜 544円	税抜 299円
ハイボール	税抜 453円	税抜 199円
焼き鳥	なし	あり
料理 メニュー数	86品	58品
人員数	変わらない	

通常メニュー数の絞り込み(86→58品)+焼き鳥メニュー導入

[illegible]

業績ガイダンス

○ 増収増益、重点施策でコスト上昇を吸収。成長投資（出店）続ける

通期業績予想の前提

- ✓ 売上高 重点施策として磯丸水産エリア別価格、鳥良商店改装効果で増収。訪日客引き続き
- ✓ 費用 生ビール、米価格上昇も粗利率維持。電気・ガス料金は補助金効果剥落で上昇する見通し
- ✓ 出店 前期並み。中期的な成長のために引き続き投資おこなう

(百万円)	25/2期実績 (24年3月～25年2月)	26/2期業績予想 (25年3月～26年2月)	前年同期比
売上高	30,389	32,500	107%
営業利益	2,186	2,500	114%
%	7.2%	7.7%	0.5 pt
経常利益	2,281	2,600	114%
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,485	1,700	114%

百万円未満は切り捨てて表示

配当金

株主優待制度

券面色：グリーン

17

株主還元 – 優待券電子化

○ 2025年5月送付分からスタート

新デザイン優待券（表）



（裏）



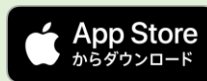
アプリ
取込み



- ・アプリ取込みで紙不要、履歴、残高確認が容易に
- ・残高内で1円単位の利用可能（※おつりはできません）
- ・有効期限が近づくとアプリでプッシュ通知
- ・紙、アプリどちらの優待券もバーコード読取で利用可能

「SFP株主優待アプリ」をダウンロード

iPhone



Android



- ・従前の株主様ご優待券（有効期限：2025年5月31日）と併用いただけます。
- ・株主様ご優待券の詳細および上記以外のアプリの操作方法につきましては、当社コーポレートサイトに掲載の利用規約およびマニュアルをご参照ください。
（25/5月公開予定 <https://www.sfpdining.jp/ir/>）

Appendix

合併会社

サステナビリティ経営

損益計算書

貸借対照表

出退店の状況

既存店前年比

合併会社 CMD・ファストワークス

○SFP社・CRH社 共同出資 グループ各社協調で全体最適図る

- ・ 2025年3月 CMD社 グループ内の物流効率化を目的に全国に8か所あった物流拠点を
関西（24/9月～）、関東（**new** 25/3月～）の基幹ディストリビューションセンターに集約
- ・ 2025年6月 ファストワークス社設立 グループのノウハウ共有、価格交渉一元化で店舗開発、メンテナンスの効率化

CMD社（2021年9月～）

円安・物価上昇
食品・ビール各社値上げ

物流全体
見直し

共同購買
単価低減

原価率UP
抑制

ファストワークス社 **new**

資材・人件費高騰
施工費上昇

ノウハウ
共有

価格交渉
一元化

設計・施工・メンテ
効率化

（※CRH：クリエイト・レストランツ・ホールディングス）

サステナビリティ経営

- 人的資本への投資、社会的責任を軸としてマテリアリティを特定、
取り組み強化・ターゲット指標設定、開示の充実図る

		マテリアリティ	主な取り組み	ターゲット指標
サステナビリティ経営	人的資本投資	多様な人材の活躍 	女性の活躍 外国籍社員の登用	女性管理職比率 男女間賃金格差
		働きがいのある 職場環境 	人事制度改定 有給取得推奨	育休取得率
	社会的責任	食の安全・安心 	点検・検査徹底 専門部門設置	事故ゼロ
		食品ロスの削減 	廃油の再生利用 食材共通化	再生利用等実施率
		脱炭素社会への貢献 環境汚染の抑止 	プラ容器削減 LED照明導入	CO ₂ 排出量
	社長をトップとしたサステナビリティ委員会を設置 指標達成に向け全社の取り組みと開示の充実			

損益計算書

(百万円)	2024年2月期					2025年2月期				
	1Q (23/3-5月)	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-2月)	通期	1Q (24/3-5月)	2Q (6-8月)	3Q (9-11月)	4Q (12-2月)	通期
売上高	7,156	7,130	7,024	7,768	29,079	7,671	7,365	7,273	8,078	30,389
鳥良事業	1,342	1,237	1,236	1,348	5,165	1,359	1,260	1,271	1,386	5,278
磯丸事業	4,333	4,309	4,257	4,713	17,614	4,655	4,465	4,402	4,937	18,461
その他事業	1,011	1,031	1,035	1,176	4,253	1,143	1,135	1,112	1,268	4,659
連結子会社	468	552	494	530	2,046	512	504	486	486	1,989
売上原価	2,089	2,062	2,028	2,225	8,406	2,238	2,155	2,131	2,318	8,843
売上総利益	5,066	5,067	4,995	5,543	20,672	5,432	5,210	5,141	5,760	21,545
販管費	4,473	4,651	4,704	4,816	18,645	4,822	4,913	4,685	4,937	19,358
営業利益	592	416	290	726	2,026	609	297	456	822	2,186
営業外収益	64	60	58	69	252	62	59	62	85	270
営業外費用	1	23	5	12	42	2	3	5	164	175
経常利益	655	453	343	783	2,236	670	353	513	743	2,281
特別利益	2	10	0	0	12	6	3	0	4	14
特別損失	0	193	113	160	468	0	8	1	81	91
税前当期純利益	657	270	229	623	1,780	676	348	512	666	2,204
法人税等	167	108	34	△260	49	198	120	183	216	719
親会社株主に 帰属する当期純利益	489	162	194	884	1,731	477	227	329	450	1,485

百万円未満は切り捨てて表示

貸借対照表

(百万円)	2024年2月期				2025年2月期			
	1Q (23年5月末)	2Q (23年8月末)	3Q (23年11月末)	4Q (24年2月末)	1Q (24年5月末)	2Q (24年8月末)	3Q (24年11月末)	4Q (25年2月末)
流動資産	10,424	10,594	4,457	5,906	6,001	6,349	6,276	6,760
うち現預金	9,244	9,418	3,028	4,518	4,509	4,885	4,704	5,277
固定資産	7,164	7,203	7,238	7,396	7,275	7,276	7,195	7,202
投資その他の資産	3,095	3,145	3,162	3,593	3,542	3,581	3,544	3,649
資産合計	17,588	17,798	11,695	13,303	13,276	13,625	13,472	13,963
流動負債	3,600	3,708	3,660	4,407	4,178	4,230	4,041	4,098
うち有利子負債	405	385	385	1,033	1,023	818	798	782
固定負債	1,222	1,168	1,148	1,151	1,144	1,184	1,182	1,132
負債合計	4,823	4,876	4,809	5,559	5,322	5,415	5,224	5,231
純資産合計	12,765	12,921	6,886	7,744	7,953	8,210	8,248	8,732
負債・純資産合計	17,588	17,798	11,695	13,303	13,276	13,625	13,472	13,963

百万円未満は切り捨てて表示

出退店の状況

(店舗数)	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2024年5月期	2024年8月期	2024年11月期	2025/2月期
直 営	201	194	189	188	189	190	190
磯丸水産	103	104	99	98	99	100	99
鳥 良	43	37	35	35	35	35	35
その他 (五の五)	24(4)	27(4)	30(8)	31(10)	31(10)	31(12)	33(14)
連結子会社	31	26	25	24	24	24	23
フランチャイズ	14	16	16	16	18	18	18
計	215	210	205	204	207	208	208
出 店	1	5	8	1	3	1	3
退 店	13	10	13	2	0	0	3
増 減	△12	△5	△5	△1	3	1	0

既存店前年比

2025年2月期	2024年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	通期計
既存店前年比	107.9%	103.9%	105.3%	107.4%	100.4%	104.0%	105.8%	102.1%	108.1%	103.7%	107.2%	102.9%	104.9%
2024年2月期	2023年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	通期計
既存店前年比	276.6%	132.7%	121.7%	113.8%	128.4%	136.5%	122.2%	109.1%	111.1%	116.3%	111.3%	111.3%	125.1%
2023年2月期	2022年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	通期計
既存店前年比	131.3%	157.1%	161.1%	158.5%	137.9%	165.8%	168.6%	154.6%	113.0%	108.4%	145.9%	223.1%	130.5%

既存店：期初時点において、出店から13ヶ月経過した店舗

本資料はSFPホールディングス株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

[本資料に関するお問い合わせ先]

S F Pホールディングス 経営企画部

ホームページ： <https://www.sfpdining.jp>